

2023年10月30日

宮城県がん対策推進協議会 会長並びに委員の皆様

がん患者会・サロンネットワークみやぎ

代表 吉田 久美子

第4期宮城県がん対策推進計画策定に向けた要望書

平素よりがん対策の推進にご理解とご尽力を賜り、がん患者や家族の立場から感謝申し上げます。

「がんになっても自分らしく生きることのできる宮城県」を目指すことを目的として、当会は2015年に19団体で発足しました。活動目標は①患者会・サロン、患者支援に関わる方たちとの交流や情報交換等で連携を深め活動促進を図ること。②がん予防の普及・啓発活動から治療やケア、生活における課題解決のため、行政や医療機関等との連携を深め協働していくこととし、現在加入団体は31団体となっています。

2023年3月28日に国の第4期がん対策推進基本計画が閣議決定され、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」ことを全体目標として掲げられました。

つきましては「がん患者会・サロン ネットワークみやぎ」では会員の声をもとに、「誰一人取り残さないがん対策推進」に向け、度要望書をまとめました。別添一覧の24団体の賛同を得ましたので提出いたします。

「第4期宮城県がん対策推進計画」策定において以下の内容が確実に反映されるよう強く願っております。こ

要望事項

1. がん患者本位のがん対策の充実 患者市民参画の推進

- ・がんの予防と早期発見のためのがん教育、がんに関する情報の普及や啓発活動、特に喫煙対策と肥満対策を強化する取り組みをお願いします。
- ・がん検診の普及と受診率の向上を図るために、検診の無料化や受診支援策の導入を提案して下さい。
- ・がん患者とその家族のための支援体制を充実させるために、福利厚生の改善や心理的・社会的なサポートの提供をお願いします。
- ・「がんは他人事」の問題を解消してゆくために、市民の声を反映し、がん患者や関係団体との対話の場を設けることや、県民の意見を広く募集する取り組みをお願いします。

そのためにも「がん条例の制定」と適切な執行をお願いします。

2. すべてのがん診療拠点病院にがんピアサポーターの配置を推進

- ・「がんピアサポーター」の存在意義を皆で理解し、その育成の推進をお願いします。
- ・宮城県として「がんピアサポーターの登録制度」の新設と、がんピアサポート活動の推進を図り、がん診療拠点病院への「がんピアサポーター配置義務化」をお願いします。
- ・「がんピアサポーター養成研修会」の研修プログラムの充実を随時図りながら研修会を実施し、養成研修会を修了した方の活動を支援していく為のシステムの構築をお願いします。

3. 小児及びAYA世代のがん対策の推進

- ・子宮頸がん検診・乳がん検診受診の啓蒙、受診しやすい環境の整備をお願いします。
- ・妊孕性温存療法の周知をお願いします。
- ・小児、AYA世代のがん患者の在宅での介護保険制度や補助金制度の導入等（福祉用具や訪問入浴・訪問介護費用等の負担軽減）療養環境体制の整備をお願いします。
- ・小児、AYA世代のがん患者・経験者に対し、がん相談の充実、長期に渡り切れ目のない支援をお願いします。
- ・AYA世代がん患者が休職や退職で収入が減ることが多い為、経済的負担の軽減や就労支援の提供体制について検討をお願いします。

4. がん教育及びがんに関する知識の普及啓発

- ・「がん教育」の現状把握(実態調査)と「外部講師を活用したガイドライン」(文部科学省策定)に沿った「がん教育」の実施
- ・「がん教育の推進」に関し、コロナ禍や地域による取り組みの違いなどから、現状把握の為の実態調査(実施状況やその結果や課題など)の実施をお願いします。(まずは現状を知ることからスタート)
- ・子どもが健康と命の大切さなどについて学び、自らの健康を適切に管理するとともに、「がんに対する正しい知識」や「がん患者・経験者の声を伝える」ことが重要であり、「外部講師を活用したガイドライン」に沿って、外部講師(医療従事者やがん患者)を積極的に活用しながら、がん教育に向けた必要な支援をお願いします。
- ・「がん教育に関する検討委員会」(仮名称)を設置し、関係者(県の担当者・教育委員会・医療従事者・がん患者団体等)が一堂に会し、それぞれの立場を理解共有するとともに役割分担と連携を基盤に、宮城県の実情(地域)に合わせた「がん教育」についてのプロセス作りに取り組んでいくことを提案します。
- ・患者団体による「がんに関する正しい知識の普及啓発活動」に対し、経済的支援及び広報支援の実施をお願いします。
- ・県民ががん予防やがん検診による早期発見の重要性を認識するとともにがんを正しく理

解することを目指す為の一手段として、「患者団体」単独で実施している事業（啓発活動）に対し経済的支援（例えば助成金制度などを制定）、または県民への広報支援を行う。がん患者・経験者自身による「がんに関する啓発活動」実施から、一般の方々に「がんは身近な存在」であり「恐れるものではない」ということを知らせ、がん予防につなげる機会の推進をお願いします。

5. がん患者の療養支援（がん療養中の親への養育支援）

- ・がん患者、家族が安心して療養ができるよう小児がん患者の兄弟姉妹の心のケア、預かり保育施策の導入をお願いします。
- ・がん患者の就労支援として企業、事業所を対象とした、がん患者への理解度を上げ離職防止、新規就職につながる更なる支援体制の充実をお願いします。
- ・がん患者の治療により外見の変化に起因する苦痛を和らげるウィッグや乳房補整具等の助成継続実施と行政広報誌での積極的な周知活動をお願いします。
- ・全てのライフステージにおいて、がん患者が安心して療養できるように、各種制度の申請手続きや活用・情報提供（高額療養費制度・限度額適用認定証・傷病手当金・医療保険制度・介護保険制度等）を適切な時期に受けることができるシステム構築をお願いします。

以上

【賛同団体（代表者）一覧】令和5年10月27日現在

東北大学病院 がん診療相談室 がんサロン『ゆい』（城田 英和）
宮城県立がんセンター がんサロン「たんぽぽ」、患者会「はなももの会」（佐々木 治）
大崎市民病院（今泉 秀樹）
石巻赤十字病院 がん相談支援センター がんサロンひだまり、プレストセンターがんサロン
独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター（江面 正幸）
独立行政法人労働者健康福祉機構 東北労災病院 がん相談支援センター
仙台厚生病院 がん相談支援センター
坂総合病院 がん診療支援室（盛口 佳宏）
栗原中央病院 サロン de よらいん（千葉 一枝）
カトレアの森（阿部 佐智子）
がんサロン：はなたば（後藤 千鶴子）
がんサバイバープログラム「Glue グルー」（佐々木 加奈子）
がん哲学外来 仙台チャウチャウ会（佐藤 まどか）
Death Café Sendai（庄司 昌利）
がん患者会「四つ葉の会」（吉田 久美子）
乳腺患者会 プリティ ふらわぁ（松原 玲子）
ひまわりスマイルプロジェクト（千葉 友里）
ホッとサロン in 仙台（伊藤 美由紀）
すい臓がん患者と家族のおしゃべりサロンぶどうの木（濱端 光恵）
りんりんの会（高橋 修子）
がん患者とその家族を支える会 ホッとサロンとめ（鈴木 玲子）
日和山カフェ（佐藤 京子）
グループ・ネクサス・ジャパン宮城支部（武田 智枝）
ふらっと南さんりく（高橋 由里子）